

AdBlue® Schatz NEWS

AdBlue®はドイツ自動車工業会(VDA)の登録商標です。 Registered trademark of the Verband der Automobilindustrie e.V.(VDA)

関西圏 3 拠点目「兵庫プラント」稼働開始

2026年7月、兵庫県相生市にSchatzの新たなAdBlue®製造拠点「兵庫プラント」が稼働を開始しました。

兵庫プラントの製造能力は月間30万L。 関西圏では3拠点目となる製造拠点で、関西エリアへの供給体制をさらに強化します。

立地を活かした配送効率の向上により、より迅速かつ安定したAdBlue®の供給を目指してまいります。

Schatzは、全国31工場が稼働しており、西日本も岸和田プラント、北大阪プラント、岡山プラントが既に稼働しておりました。

兵庫プラントが完成した事によりSchatzの理念であるプラントから100km圏内でのお客様対応が可能となります。

万が一お客様のAdBlue®が切れてしまっても最短3時間以内にデリバリーできる緊急対応を実現していきます。



【尿素市況】 7 月輸入価格はじわり上昇、中東情勢が再緊迫化

リム情報開発の調べでは、日本着(CIF)の円建て輸入尿素価格は、7月31日時点でトンあたり82,500円程度と、6月26日時点から1,000円程度じり高となった。

一時的に開放されたホルムズ海峡が、米イランの攻撃再開を受けて再び封鎖された。また、イエメンの親イラン武装組織フーシ派がバブエルマンデブ海峡を通航しようとしたタンカーに攻撃したことで、同海峡の航行も難しくなった。中東積みカーゴの供給不安が再燃した。

一方、インド国営肥料会社RFCが同国東海岸向け70万トン、西海岸向け100万トンの計170万トンを対象とした買い付け入札を開示した。これにより国際市場の需給に引き締め感が出た。中国当局が新たな輸出枠の割当を検討しているようだが、詳細は不明。輸出枠の多くはインドに向けられるとみられ、日本向けに供給されるかは不透明だ。

(リム情報開発の週刊『グリーンエネルギー』記事を編集加工)



川崎工場が「ISCC PLUS」認証を取得

Schatz川崎工場は、持続可能な原料の管理・トレーサビリティに関する国際認証「ISCC PLUS」を取得しました。

今回の認証取得により、環境負荷低減に配慮した原料を使用した AdBlue® の供給に対応できる体制を整えました。

今後は、お客様からのご要望に応じて供給開始を予定しています。

Schatzでは、安定供給だけでなく、環境に配慮した製品づくりにも取り組んでいます。

